

# 九州大学経営協議会議事録

日 時：平成20年1月28日(月) 13:00～15:30

場 所：九州大学 事務局第一会議室

出席者：(略)

## 【紹介】

梶山総長から、平成19年11月6日付けで任期満了した理事及び総長特別補佐を再任等したことについて、また、新たに10月1日付で任命した総長特別補佐について紹介があった。

## 【机上配付の本】

梶山総長から、机上配付している日経BPMック「変革する大学」シリーズの九州大学版について紹介があった。

## 【前回議事録の確認】

梶山総長から、前回9月27日開催の議事録について確認があり、今後、ホームページへ掲載し、学内外へ公表する旨の発言があった。

## 【報告】

### 1 給与の支給基準の改定について

上田総務部次長から、昨年11月21日に書面で審議したとおり、平成19年度及び20年度給与の支給基準を改定することについて報告があった。

### 2 平成20年度概算要求の内示事項について

柴田理事から、平成20年度概算要求の内示事項の概要について報告があった。

その際、以下のような意見等があった。

- ・退職手当の経理はどのような仕組みとなっているのか。
  - これまで大まかな予定額で予算措置されていたものが、実績額で予算措置されることになったもの。国立大学法人移行時の定員分の退職金については国から措置されることになる。
- ・効率化係数と経営改善係数についての今後の対応方策は。
  - 経費の節約に取り組むとともに、外部資金の積極的な獲得等に努めたい。
- ・独自の授業料の設定を検討すべきである。

## 【議 題】

### 1 中期計画の変更について

芹ヶ野企画部次長から，農学部附属福岡演習林の土地の一部の福岡県への譲渡，箱崎団地及び筥松地区の土地の一部の換地処分並びに人間環境学府等の入学定員変更に伴う中期計画の変更について説明があり，審議の結果，これを了承した。

### 2 平成20年度大学運営経費等配分計画について

柴田理事から，平成20年度大学運営経費等配分計画の概要について，次いで，佐藤財務企画課長から，その詳細について説明があり，審議の結果，これを了承した。

その際，以下のような意見等があった。

- ・部局裁量経費を導入して，どのような効果があったのか。
  - 予算化されなかったもの，緊急に必要なもの等に対し，部局の独自の判断で財政措置を行えるようになった。
- ・女性及び障害者の雇用について，適切に対応していく必要がある。
- ・入学定員と入学者数のかい離について，適正なレベルになるよう対応する必要がある。
- ・学位取得者の一層の社会進出に努める必要がある。また，学生の質を保証するシステムの導入について検討すべき。その上で，学生数の増加について議論すべきである。
- ・社会のニーズを踏まえつつ，定員の最適化について検討すべき。

### 3 平成21年度概算要求基本方針について

柴田理事から，平成21年度の概算要求基本方針の概要について説明があり，審議の結果，これを了承した。

## 【自由討議】

### 1 平成21年度以降の将来構想について

玉上企画部長から，平成21年度以降の概算要求に向けた現在の構想について説明があり，次いで，梶山総長から，これについて各委員からご意見等をいただき，今後の検討に活かしていきたい旨の発言があった。

これに対し，各委員から以下のような意見等があった。

- ・「伊都キャンパスへの移転」，「百周年」及び「アジアの発展」といったキーワードを踏まえつつ，企業へ具体的な提案をしてほしい。
- ・交通の便を考慮しつつ拠点を設置すべき。
- ・企業は海外で活躍できる日本人の人材を求めており，インターナショナルカレッジ（仮称）は重要な構想である。
- ・インターナショナルカレッジ（仮称）は，21世紀プログラムを高度化した大学院コースとして検討できないか。
- ・全ての研究院が教育に関する長期構想を検討すべき。
- ・複雑化した社会問題へ対応するため，学部の再編成について検討すべき。
- ・アジア規模で，どのように学生を集め，どのように教育するかを考えるべき。

【その他】

・平成20年度経営協議会開催日程について

梶山総長から、平成20年度の経営協議会開催日程について案内があった。

( 以 上 )